



「ヤバい」「エモい」のコミュニケーション

校長 蒲谷 猛

『野ばら』

作曲：シューベルト

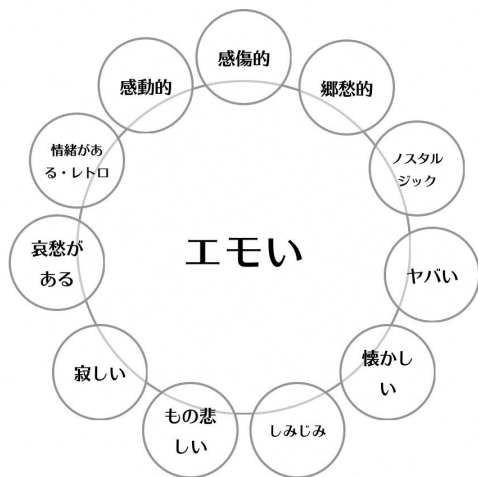
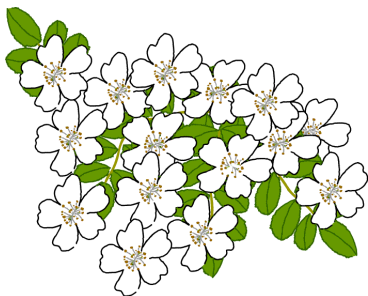
作詩：ゲーテ

訳詞：近藤 朔風

童はみたり 野なかの薔薇
清らに咲ける その色愛でつ
飽かずながむ
紅におう 野なかの薔薇

手折りて往かん 野なかの薔薇
手折らば手折れ 思出ぐさに
君を刺さん
紅におう 野なかの薔薇

童は折りぬ 野なかの薔薇
折られてあわれ 清らの色香
永久にあせぬ
紅におう 野なかの薔薇



「ヤバい」という言葉は、「やばい。気を付けろ。」など、もともとは「まずい」とか「危険」など、あまり好ましくない状況のときに使われていましたが、最近では、「すごい」とか「魅力的」などの意味で使われることの方がむしろ多くなったような気がします。サプライズな演出を受けて、「ヤバい」を連呼するときなどは、一挙に高まった驚きや喜びなどの心の動きを、言語化する前にふわっとした感情のまま表出しています。「うわ、うれしい。まさか用意してくれたなんて知らなかった。一体、いつやったの。涙が出そう。」心の動きを言語化するとこんな感じですね。それを「ヤバい。ヤバい。ヤバい。」と表現しているわけですから、仕掛け人には、「ヤバい」という言葉によって感動してくれていることや喜んでくれていることがあいまいさを含んだまま伝わってきます。

いつの頃からか聞くようになった「エモい」という言葉も同じです。感情を揺さぶられて、何とも言い表せない気持ちになったとき、とりわけ心地よい懐かしさや良質なセンチメンタルを感じたときに使う言葉のようです。この「エモい」という言葉には左下の図のような多くの感情が含まれていると言われており、人によって『エモい』によって表そうとする感情は当然異なってきます。

言葉の流行に抗うつもりはありませんが、このような言葉は、最近の子どもたちのコミュニケーション力の低下を助長しているように思います。「ヤバいよね。」「うん、ヤバい、ヤバい。」などと共鳴し合うとき、あいまいな感情をあいまいなままで共有しているので、実はちがうことを感じたり考えたりしているのに、すっかり共感し合った気になってしまっていることがよくあるからです。時には、マイナスの感情をあいまいなまま共有した気になってすっかり舞い上がってしまうこともあります。「キモい」とか「むかつく」とかですね。「偽りの共有」で終わらせてはいけません。

学習での追究を深いものにしたり人間関係調整力を高めたりするには、あいまいさをそのままにして、安易に同意を求めたり他に同調したりすることなく、自分の心の動きや考えをしっかりと言語化する努力が必要だと思います。そのためには、周囲の大人が、ていねいに問い返したり、言葉を補ったりする支援が欠かせません。学校でも家庭でも歩調を合わせて働きかけていきたいですね。

【5月の行事予定】

日	曜	行事
1	土	
2	日	
3	月	憲法記念日
4	火	みどりの日
5	水	こどもの日
6	木	朝読書 聴力検査（1年、7組）
7	金	スキルタイム（算数） 原オリ実行委員会 内科検診（2年1～3組、6年） 学校カウンセラー来校日〔全日〕
8	土	
9	日	
10	月	朝会 視力再検査（4年、7組）
11	火	スキルタイム（算数） 視力再検査（6年） 委員会活動
12	水	歯科検診（4年、6年4～6組）
13	木	朝読書 心臓検診（1年） 授業参観（1～3年）
14	金	内科検診（1年、2年4・5組、7組） 授業参観（4～6年、7組） 学校カウンセラー来校日〔全日〕
15	土	
16	日	
17	月	朝会 色覚検査（4年） 代表委員会
18	火	原オリ全体練習① 原オリ実行委員会
19	水	歯科検診（2年1・2組、3年、7組）
20	木	朝：応援練習（学級） 眼科検診（全学年） 原オリ実行委員会
21	金	原オリ全体練習② 視力再検査（3年） 学校カウンセラー来校日〔全日〕
22	土	
23	日	
24	月	開港記念式 代表委員会
25	火	原小オリンピック（全学年徒競走日） 原オリ実行委員会
26	水	原オリ全体練習（予備）
27	木	朝読書 原小オリンピック（全学年徒競走予備日） 全国学力・学習状況調査（6年）
28	金	スキルタイム（国語） 原オリ前日準備 学校カウンセラー来校日〔全日〕
29	土	原小オリンピック
30	日	

31 月 原小オリンピック振替休日

＜原小オリンピックスローガン＞
原の子4K 協力 きまり 感謝 健康
～500対500の迫力で原オリを
みんなで全力で楽しもう！！～

【授業参観】

5月13日（木）：1～3年生
5月14日（金）：4～6年生、7組

今回の授業参観は、教室内の密を避けるため、時間帯を2時間または3時間に分けて行います。また、各学級を出席番号順に2グループまたは3グループに分け、来校していただく保護者を分散させていただきます。ぜひ子どもたちの学習の様子をご覧ください。



【原小オリンピック分散開催】

感染症対策のため、競技・演技を分散して開催します。

5月25日（火）：徒競走【予備日5月27日（木）】

5月29日（土）：団体演技、団体競技、応援合戦、リレー（低・高）、開閉会式

今後の感染状況により内容が変更になる場合があります。詳しくは、4月20日（火）に配付したお知らせをご覧ください。ご協力よろしくお願いします。

【児童支援専任コーナー】

児童は期待や不安を抱えながら新学期を迎えていると思います。児童一人一人のよりよい成長を目指し、保護者の方と共に学習面や生活面などいろいろなことを相談していきたくと考えています。気になることがありましたら担任や児童支援専任（菅野）までご連絡ください。

児童に関する相談窓口は次の通りです。お気軽にご相談ください。

児童・保護者相談窓口 原小学校 045-362-2020
養護教諭 徳永久美子・榊原 梓
児童支援専任教諭 菅野 光宏
特別支援教育コーディネーター 鍋倉 養

お子様の担任からも、児童の学習や生活の様子把握のために、電話連絡を行います。

24時間子供SOSダイヤル 0120-078-310
<https://www.mext.go.jp/ijime/detail/dial.htm>
・一般教育相談 045-671-3726
・学校生活あんしんダイヤル 045-624-9081
・瀬谷区福祉保健センターこども家庭支援課 045-367-5747
・よこはま子ども虐待ホットライン 0120-805-240



○4月の行事から

【入学式 4月7日（火）】

今年度は161名の元気いっぱいの1年生が入学しました。校長先生や担任の先生からの話を一生懸命に聞いていた1年生。学校生活に早く慣れて、たくさん友達ができることを願っています。

【始業式・着任式 4月7日（火）】

今年度は全校児童976名でスタートしました。新しい友達や担任の先生との初顔合わせ。児童の様子や表情からは、新しい学年への期待感や意気込みが感じられました。着任した職員の紹介も行われました。

【3年生 まちたんけん（社会）】

3年生は、社会の学習「わたしたちの大すきなまち」という学習でまちたんけんをしています。長屋門公園や学区にある公園などへまちたんけんをしています。いろいろなところに行き、いろいろな気付きから学習を深めています。



昔の道具があったよ。

車が多い道があるから気をつけないとね。

学区には、公園がたくさんあるな。

いろいろな花がさいているな。



【6年生が1年生のサポートをしています！】

6年生が1年生の教室に行き、給食の片付けや掃除のサポートをしています。6年生が、1年生に飲み終わった牛乳パックの開き方を教えたり、掃除を手伝ったりしています。1年生と仲良く話をする姿がたくさん見られてきました。



また、4月20日（火）に委員会活動がスタートしました。最高学年として6年生が学校をリードしていて、頼もしい姿がたくさん見られています。6年生が、5年生と協力して、よりよい原小学校をつくっていき

るように職員全員で支援していきます。

【6年生 わたしのお気に入りの場所（図画工作）】

6年生は、図画工作の学習「わたしのお気に入りの場所」の学習で、熊野神社や和泉川、長屋門公園などの地域に出てスケッチをしました。これから色を付けていきます。出来上がりが楽しみです。

まずは、描きたいものをじっくり見るところからはじめました。



遠近法を意識して描きました。



【1年生 学校たんけん】

1年生は、学校たんけんが始まりました。校庭では、プールや遊具、学校にある木や花に興味をもっている様子でした。校舎内の学校たんけんもしました。学校のことがいろいろ分かってきて友達と関わりながら学校生活を送るようになってきた1年生です。



【家庭訪問】

4月22日（木）から家庭訪問を行っています。話し合ったことを学校での指導・支援に生かしていきます。日程の調整等、ご協力ありがとうございます。



【1年生を迎える会】

4月26日（月）に1年生を迎える会をテレビ放送で行いました。新しく原小に仲間入りした1年生を温かく迎える雰囲気がとても伝わる会でした。2年生からアサガオの種や6年生から校歌の歌詞のプレゼントもありました。



○お知らせとお願い

【YICA・国際理解教室の先生が着任しました】

・YICA講師 (AET)

デイビッド イザワ 先生

アメリカ (ハワイ州) 出身です。1、2年生は年間15時間、3、4年生は30時間、5、6年生は年間65時間の学習が予定されています。英語に親しみ、コミュニケーション力を高めていきます。



・YICAとは？

身近で簡単な英語によるコミュニケーション活動を通して、英語に親しみ、児童の英語への興味・関心や意欲を育てます。また、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できるような自己表現力や積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することもねらっています。

・国際理解教室講師 (IUI)

ナガタニ ミリアム 先生

ペルー出身です。ペルーと日本の生活や文化の違いを、英語を通して学習します。各クラス、年間4～5時間の学習が予定されています。



・国際理解教室とは？

英語での簡単なコミュニケーションを通して、外国の文化や習慣に触れたり、日本の文化や習慣と比較したりすることで、児童の気付きを引き出すことをねらいとしています。IUIとの触れ合いを通し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。

【国際教室のお知らせ】

第二校舎二階、図書室の東側に国際教室があります。日本語指導が必要な児童に応じて、日本語指導、教科指導、生活適応指導などを行います。

ご質問、ご相談などありましたら、ご連絡ください。

◎副校長 米山 明央 または

◎国際教室担当教諭 平野 理恵 まで



教室の前には、世界の国々のあいさつが掲示してあります。

【学校におけるセクシャル・ハラスメント相談窓口】

学校では、わいせつやセクハラに関する相談窓口を設置しています。窓口があることをお子さんにもお伝えください。

◎児童・保護者相談窓口

養護教諭 徳永 久美子
榊原 梓

◎教職員相談窓口

副校長 米山 明央

児童支援専任

菅野 光宏

※なお、教育総合相談センターの一般教育相談も、セクハラ相談窓口として利用できます。

◎教育総合相談センター ※月～金 9:00～17:00

TEL 671-3726

【5月のカウンセリング】

5月の学校カウンセラーの来校日は、7日(金)〔全日〕、14日(金)〔全日〕、21日(金)〔全日〕、28日(金)〔全日〕です。お子さんの成長や学校生活についての悩みや疑問がありましたら、気軽にご相談ください。学校(045-362-2020)の副校長又は児童支援専任(菅野)までご連絡ください。

【メール配信の登録は完了されていますか？】

4月15日(木)に、一斉メールテストを実施しました。もし、テストメールが受信できない時は登録が完了していないことが考えられますので、再度、プリントを確認してください。なお、遠足や校外学習等の帰校時刻については、予定通り帰校する場合は配信せず、交通事情の遅れ等で予定より大幅に異なる場合のみ配信します。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

【学校納入金について】

学校納入金の引き落としを5月10日(月)に行います。今年度よりPTA会費も含め5月に一括して納入していただきますので、ご承知おきください。なお、再振替日は5月25日(火)です。

【欠席連絡のお願い】

欠席をされる場合は、8時00分までに、学校メールアドレスに連絡してください。その際、学年、組、欠席するお子さんの名前、欠席の主な理由の記入をお願いします。8時00分を過ぎた場合は、電話での連絡をお願いします。感染症感染拡大防止の観点から、連絡帳等のご連絡でなく、必ずメール(電話)でご連絡ください。

✉ ky-ye-hara@city.yokohama.jp

☎ 045-362-2020

また、欠席された場合の課題やお便り等は、同様の理由で、可能な限りの保護者の方の来校、受け取りをお願いいたします



原小メール
アドレス
QRコード

本校職員 高林淑子教諭は、4月1日より育休に入りました。連絡が遅くなって申し訳ございません。